

施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (5) 広域的な交通拠点性の強化

(評価担当者)

総合政策部長 山本 伸治

基本施策が目指す姿

市内外の人が、高速交通ネットワークを活用し、広域的な交流・連携を行っています。

関連する分野別計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	リニア中央新幹線亀山駅整備 基金残高	億円	15.5090	H27	16.5106	17.0175				20
2										
3										
4										
5										

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 高速道路網が整備されている	重要度	1.05	1.07	高速道路網に対する市民の重要度はやや高くなっている中で、市民の満足度が伸び悩んでいる。新名神高速道路が急ピッチで進められていたため、市民アンケート調査の実施時期が、新名神高速道路の新四日市JCT・亀山西JCT間の開通前であったこと等、高速道路網整備状況の市民認知度が影響していると考えられる。
	満足度	0.63	0.63	
2	重要度			
	満足度			
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
A 順調に進んでいる	<p>リニア中央新幹線市内停車駅誘致の推進については、リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議を中心とした誘致活動や県等関係機関と連携した取り組みを通じて、順調に進めることができている。また、リニア駅整備基金の計画的な積み立てにより、基金積立額が目標額(20億円)の約85%に達し、リニア市内停車駅誘致後の周辺整備に向けた財源確保も順調に進めている。</p> <p>一方、広域道路網の強化については、期成同盟会を通じて整備促進を働きかけてきた新名神高速道路の三重県内区間が平成30年度に開通するとともに、鈴鹿亀山道路のルート決定、新名神高速道路(大津JCT～亀山西JCT)の6車線化の事業許可など、高速道路網の整備促進を順調に進めることができている。</p>
反省点・課題	
<p>リニア中央新幹線市内停車駅誘致の推進については、JR等の動向を注視し先行開業区間の整備状況を把握しつつ、早ければ数年後に概略のルートや駅位置の決定が予測される中で、全線開業と市内停車駅誘致について、更に市を挙げた活動として盛り上げていけるよう、リニア亀山市民会議を通じた取り組みや関係機関との連携した取り組みを強化する必要がある。また、市内停車駅の設置効果を最大限生かすことができるよう、駅を核としたまちづくりに向けた研究を継続する必要がある。</p> <p>一方、広域道路網の強化については、鈴鹿亀山道路及び国道1号関バイパスの早期実現に向け、関係自治体や関係機関との連携を一層強化しながら、継続した要望活動や更なる機運醸成を図る取り組みを行っていく必要がある。</p>	

今後の展開方針

リニア中央新幹線市内停車駅誘致の推進については、市民意識の高揚とリニア駅誘致自治体としてのPRを積極的に展開するため、リニア亀山市民会議を補助支援し、シンポジウムの開催等の取り組みを展開していく。また、リニア市内停車駅誘致後の周辺整備に備える基金積立額の見直しや、先行開業区間の中間駅自治体の事業も踏まえた中で、市内停車駅誘致後のまちづくりに向けた更なる研究を行っていく。

一方、広域道路網の強化については、鈴鹿亀山道路及び国道1号関バイパスについて、関係自治体や関係機関と連携した要望活動や機運醸成に向けた取り組みを展開していく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向 リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	<p>リニア亀山市民会議を補助支援し、中央要望をはじめ、リニア鉄道親子学習会の開催、リニア駅イメージポスターの作成、会報誌の全戸配布、民間ショーウィンドウでの展示等広くPR等誘致活動に努めた。リニア中間駅設置開業による影響把握調査の概要版を作成し、要望活動等で活用した。リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積み立てを行い、当該基金残高が約17億円となった。</p>	評価	<p>リニア市民会議を通じた取り組みや県等関係機関と連携した取り組みにより、市内停車駅誘致活動を積極的に展開するとともに、市民意識の高揚にも繋げることができている。また、リニア亀山駅整備基金を目標額20億円の約85%まで積み立て、リニア市内停車駅誘致後の周辺整備に向けて、計画的な財源確保を図ることができている。</p>		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17066	高速交通促進事業	主	1,687 / 1,591	A	A
	17067	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業	主	50,690 / 50,690	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 広域道路網の強化						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	<p>新名神高速道路建設促進期成同盟会、一般国道1号関バイパス建設促進期成同盟会、鈴鹿亀山道路建設促進期成同盟会を通じ、関係市町及び関係者とともに、国・県に対して、要望活動を行った。</p> <p>また、新名神高速道路の建設促進のため、関係市町及び関係者とともに、三重・滋賀建設促進県民協議会大会を開催した。</p>	評価	<p>新名神高速道路三重県区間の開通や鈴鹿亀山道路のルート決定、また、新名神高速道路(大津JCT～亀山西JCT)の6車線化の事業許可など、広域幹線道路網の整備促進に繋げることができた。</p>		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
				/		
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	新名神建設促進同盟会、関バイパス建設促進同盟会、鈴鹿亀山道路建設促進同盟会要望活動等				A	A